

令和6年度第1回愛媛県宇和島構想区域 地域医療構想調整会議の開催結果について

- 1 会議名 令和6年度第1回愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議
- 2 開催日時 令和6年9月3日（火曜日） 午後6時30分から午後8時00分まで
- 3 開催場所 南予地方局 7階 大会議室（Webとのハイブリッド形式での開催）
- 4 出席者 委員20名（うちWeb6名）、
地域医療構想アドバイザー1名（うちWeb1名）、
オブザーバー1名（うちWeb1名）、
随行者7名、事務局5名、講師・説明者4名 計38名
- 5 傍聴者 一般2名（報道関係者なし）
- 6 議事概要（部分公開）
 - (1) 愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議設置要綱の一部改正について
愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議設置要綱の改正について、事務局案のとおり承認された。
 - (2) 各医療圏の課題分析と詳細分析の医療圏について
愛媛県医療対策課及び株式会社日本経営から、診療実績等のデータに基づいた各医療圏の現状分析の結果及び課題が示され、地域医療構想の達成（課題解決）に向けた関係者による自主的な取り組みを更に推進していくことで合意した。
 - (3) 令和7年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について
（非公開）
 - (4) その他
次のとおり意見交換等がなされた。
 - ・宇和島圏域のデータ分析の結果では、外来患者数や入院患者数が既に減少傾向に入っているとのことであるが、医療現場において、外来患者数や入院患者数が減少しているという感覚はあるか。
また、本年4月から完全施行された医師の働き方改革による影響はあるか。
⇒宇和島圏域では、看護師不足等の影響により、実際に稼働する病床は相当減っており、入院患者数もおそらく減っているものと考える。
医師の働き方改革については、市立宇和島病院では大きな影響を受けていないが、宿直・日直等を他院からの応援で賄ってきた病院にとっては影響があるのではないかと推測する。
 - ⇒JCHO宇和島病院ではコロナ禍以前と比較して患者数が3分の2程度に減少しており、回復していない。
過去に常勤医師が多くいた際は、病床超過とならないよう入院患者の調整をしていたが、現在は概ね75%程度の稼働率を保っている。

⇒宇和島徳洲会病院では看護師不足、医師不足の影響により、稼働病床を制限しており、コロナ禍以降は入院患者数も減っている。

働き方改革について、残業の管理が厳しくなっており、以前のような医師の超過勤務による対応ができなくなっている。

⇒県立南宇和病院では、看護師不足の影響により、実際に稼働している病床数が減っている。

外来患者数、入院患者数は、コロナ禍以前の水準に戻っていない状況である。

宇和島保健所
企画課 医療対策係
TEL : 0895-28-6105
FAX : 0895-24-6806